

濱本 真輔
法学研究科・教授

【研究】

①基盤研究(A)「現代日本における平等をめぐる政策観の実証研究」では、地方議員調査データを分析し、次年度に刊行予定の論文「後援会と代議士系列」を執筆した。2027年に刊行予定の *Elites and the Idea of Equality Revisited: Changes and Continuities in Japanese Politics* に収録される論文2本(Theories and Contexts on Equality, Transformation of the Japanese Core Executive)の執筆を進めた。

②基盤研究(A)「機会と結果の政治的不平等に関する総合的実証研究」では、政策会議と審議会の会議体および委員データの構築を進めた。

③基盤研究(B)「小選挙区比例代表並立制が政党・議員・有権者に与えた影響に関する実証的研究」では、並立制下での合併や政党運営を分析し、ミネルヴァ書房から刊行された『民主党史』に「民主党研究の意義と視座」など、3本の論文を寄稿した。

④基盤研究(C)「政党助成制度の国際的把握と政党システムへの作用」では、党職員インタビュー(4回)を実施するとともに、OECD 諸国の制度と資金配分データ、日本の政党助成金データを構築し、「日本の政党助成制度は政党システムに何をもたらしたのか?」と題する論文を『年報政治学』に寄稿した。

他に、『選挙研究』に書評を寄稿した。また、日本選挙学会が主催する分科会で討論者を務めた。

【教育】

①法学部の「政治学原論」(4単位)、「演習1a,1b,2a,2b」(各2単位)を担当した。

②法学研究科の「政治学概論」(2単位)、「政治学・政治学特殊講義」(2単位)を担当した。政治学特殊講義では議会、政党、選挙をめぐる研究動向について、受講者の理解を深めた。また、両科目において、受講者にペーパーの執筆を義務付け、添削指導した。

③前期課程、後期課程の院生を対象とした研究報告会(月1回)で進捗報告を受けつつ、他に個人面談も重ねて「研究指導」を行い、投稿論文、修士論文、博士論文の執筆を促した。

【管理運営】

教育課程委員会の委員を務めた。他にマルチリンガル教育連絡協議会委員、教育情報化ワーキング委員を務めた。

部局内委員会では、法学部教務委員長を務めた。また、大学訪問時の模擬授業を行った。

【社会貢献】

日本政治学会の編集委員を務め、学会誌『年報政治学』の刊行を進めた。

日本選挙学会の編集委員を務め、学会誌『選挙研究』の刊行を進めた。

日本公共政策学会の学会賞小委員会の委員を務めた。

他に、議員や政党のあり方に関連し、読売新聞社、共同通信社などの取材に対応し、情報を提供した。また、共同通信社の実施するポートマッチプログラムの専門家調査に参加した。